

# 2019 年度 日本生化学会関東支部例会

会期：2019 年 6 月 22 日（土）

会場：東京工業大学すずかけ台キャンパス 大学会館

世話人代表 久堀 徹（東京工業大学化学生命科学研究所 所長・教授）  
岩崎 博史（東京工業大学生命理工学院 教授）  
一瀬 宏（東京工業大学生命理工学院 教授）  
上田 宏（東京工業大学化学生命科学研究所 教授）  
梶原 将（東京工業大学生命理工学院 教授）  
中戸川仁（東京工業大学生命理工学院 准教授）  
林 宣宏（東京工業大学生命理工学院 准教授）  
伊藤健太郎（東京工業大学生命理工学院 博士研究員）  
小谷哲也（東京工業大学生命理工学院 博士研究員）  
野亦次郎（東京工業大学化学生命科学研究所 助教）  
原 怜（東京工業大学生命理工学院 助教）  
真木孝尚（東京工業大学生命理工学院 特任助教）  
Chen Xinyue（東京工業大学生命理工学院 助教）

学生委員 稲辺宏輔 安田貴信 横地佑一

生化学会関東支部長：

仁科 博史（東京医科歯科大学 難治疾患研究所）

主催：日本生化学会関東支部

共催：日本生化学会

URL：<https://www.biochem-kanto.jp/reikai2019/index.html>





## アクセス方法

### 東京工業大学すずかけ台キャンパス

#### ■ 公共交通機関でお越しの方

東急田園都市線「すずかけ台駅」下車、徒歩5分  
急行・準急は止まりません。ご注意ください。



#### ■ お車でお越しの方

本学では、一般の方の車での入構を制限しております。やむを得ない事情がある場合には手続きを行いますので、事務局にご連絡下さい。

## 参加者へのご案内

### 1. 当日の手続き

受付は大学会館3階すずかけホール前です。

### 2. 参加証（名札）

受付にて参加証をお受け取りください。本会中は場所時間にかかわらず常にご着用ください。

### 3. 弁当

弁当を予約された方は、受付にて昼食代500円をお支払いいただき、引換券をお受け取りください。釣り銭のいらないように小銭をご用意下さい。12:20に受付で弁当をお渡しします。なお、ホールでは飲食できません。ラウンジ、または、大学会館2階のカフェレストラン・モトテカのテーブルをご利用下さい。

### 4. 懇親会

懇親会に参加される方は、受付にて懇親会費をお支払いください。釣り銭のいらないようにご用意下さい。

一般 3000円 学生 1000円

会場：大学会館2階 カフェレストラン・モトテカ 18：00～20：00

### 5. クローク

大学会館2階集会室2にてお荷物をお預かりします。ただし、貴重品、PC等は各自でお持ちください。

お預かり時間：9：00～18：00

## 6. 飲食場所

大学会館内で飲食できる場所は、ラウンジ（ポスター会場）、および、2階モトテカです。ランチタイムのコーヒーサービスもモトテカで行いますが、食事の提供は行いません。昼食のお弁当を申し込まれた方も、12:00-13:20の間、モトテカのテーブルをご利用いただけます。

大学会館1階の生協は、土曜日は営業していません。ご注意ください。

## 7. 喫煙される方へのお願い

東工大の大学構内は、喫煙所を除き、全面禁煙です。喫煙所は大学会館2階にあります。

## 8. 飲食施設

例会当日は、大学構内では食堂の営業はありません。すすかけ台駅改札口脇に「ローソン」があります。また、すすかけ門向かい側の線路脇に朝日屋（そば）があります。昼食を申し込まれなかった方は、各自、お持ち下さい。ただし、ホールでは飲食できません。ラウンジ、または、大学会館2階のカフェレストラン・モトテカのテーブルをご利用下さい。ゴミは必ずお持ち帰りいただくよう、ご協力をお願いいたします。

## 発表者へのご案内

### ○一般講演（口頭）発表者

#### 1. 講演会場

東京工業大学すずかけ台キャンパス 大学会館 すずかけホール

#### 2. 発表方法

パソコンによる発表となります。演台上には、マイク、ポインターをご用意いたします。各自、ご発表の前に演台下にある机にPCを持ってきてRGBケーブルに接続してください（切り替え器あり）。会場のプロジェクタのアスペクト比は、4：3です。

#### 3. 発表時間

発表10分、質疑応答2分です。時間厳守でお願いいたします。

4. 優れた口頭発表を行った学生に対して「優秀発表賞」を贈呈いたします。

### ○ポスター発表者

#### 1. 発表会場

東京工業大学 すずかけ台キャンパス 大学会館 2階集会室 1または3階ラウンジ

#### 2. ポスター掲示

演題番号の付いた所定のスペースに掲示してください。

ポスターボードのサイズは、「横 120 cm 縦 175 cm」です。

貼付 9:00 以降（12:20 分までに貼付をお願いします。）

撤去 14:40 (ポスター発表終了後)～16:30 (シンポジウム開始前)

#### 3. 発表時間

12:20～13:20 自由討論

13:20～14:00 奇数番号 ポスター発表討論

14:00～14:40 偶数番号 ポスター発表討論

4. 優れたポスター発表を行った学生に対して「優秀発表賞」を贈呈いたします。

# プログラム

09:00～	受付開始
9:30～9:35	<b>開会の挨拶</b> 久堀 徹 (2019 年度関東支部例会代表世話人 東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所)
<b>Session 1 一般講演 (口頭発表) (9:35～11:47)</b> 座長 : 中戸川仁 (東京工業大学生命理工学院)	
9:35～9:47 OL-01	<b>【ポスター発表演題番号 : P-03】</b> 植物の活性酸素種(ROS)の積極的生成を担うNADPHオキシダーゼ/RbohのCa <sup>2+</sup> 結合とリン酸化を介した活性制御機構とその進化 ○橋本 貴史 <sup>1)</sup> 、橋本 研志 <sup>1)2)</sup> 、板橋 武 <sup>1)</sup> 、宮川 拓也 <sup>3)</sup> 、田之倉 優 <sup>3)</sup> 、朽津 和幸 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 東京理科大学理工学部応用生物科学科、 <sup>2)</sup> 東京理科大学イメージングフロンティアセンター、 <sup>3)</sup> 東京大学大学院農学生命科学研究科
9:47～9:59 OL-02	<b>【ポスター発表演題番号 : P-09】</b> 肝臓のGpnmb発現誘導は2型糖尿病の進展を抑制する ○田中 大志 <sup>1)</sup> 、大串 悠斗 <sup>1)</sup> 、合田 亘人 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 早稲田大学
9:59～10:11 OL-03	<b>【ポスター発表演題番号 : P-34】</b> 生細胞内のグルコース動態を検出する遺伝子コード型緑色蛍光センサーの創出 ○三田 真理恵 <sup>1)</sup> 、伊藤 幹 <sup>2)</sup> 、原田 一貴 <sup>1)</sup> 、菅原 和 <sup>2)</sup> 、上田 宏 <sup>3)</sup> 、坪井 貴司 <sup>1)2)</sup> 、北口 哲也 <sup>3)</sup> <sup>1)</sup> 東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系、 <sup>2)</sup> 東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻、 <sup>3)</sup> 東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所
10:11～10:23 OL-04	<b>【ポスター発表演題番号 : P-35】</b> 光依存的行動リズム及び行動量における時計遺伝子zPer2、zCry1aとzCry2aの役割 ○Alifu Yikelamu <sup>1)</sup> 、平山 順 <sup>2)</sup> 、仁科 博史 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京医科歯科大学難治疾患研究所、 <sup>2)</sup> 公立小松大学保健医療学部臨床工学科

10:23~10:35 OL-05	<p>【ポスター発表演題番号：P-49】</p> <p>核小体におけるEBP2を介したNPM-ALKの新規形質転換メカニズムの解析</p> <p>○内原 脩貴<sup>1)</sup>、多胡 めぐみ<sup>1)</sup>、多胡 憲治<sup>2)</sup>、田村 悦臣<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>慶應義塾大学薬学部、<sup>2)</sup>自治医科大学</p>
10:35~10:47 OL-06	<p>【ポスター発表演題番号：P-61】</p> <p>鉄硫黄クラスター生合成系における硫黄供給酵素のシステイン脱硫反応機構</p> <p>○中村 亮裕<sup>1)</sup>、藤城 貴史<sup>1)</sup>、高橋 康弘<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻</p>
10:47~11:00	休憩
<p><b>Session 2 一般講演（口頭発表）（11:00~12:12）</b></p> <p>座長：林 宣宏（東京工業大学生命理工学院）</p>	
11:00~11:12 OL-07	<p>【ポスター発表演題番号：P-63】</p> <p>エネルギー代謝酵素creatine kinase muscle typeはホスファチジン酸に特異的に結合する</p> <p>○星野 史規<sup>1)</sup>、坂根 郁夫<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>千葉大・院・融合理工・化</p>
11:12~11:24 OL-08	<p>【ポスター発表演題番号：P-66】</p> <p>ムチン型糖鎖を全身性に欠損するマウスを用いた生理的機能の探索</p> <p>○鈴木 陸<sup>1)2)</sup>、中村 勇輝<sup>1)</sup>、布施谷 清香<sup>1)3)</sup>、坪内 鴻奈<sup>1)</sup>、新保 未来<sup>1)</sup>、高橋 智<sup>1)</sup>、工藤 崇<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>筑波大学 医学医療系 解剖学発生学研究室、<sup>2)</sup>筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム、<sup>3)</sup>筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生命システム医学専攻</p>
11:24~11:36 OL-09	<p>【ポスター発表演題番号：P-69】</p> <p>妊娠高血圧/<math>\alpha</math>1A-AR-KOマウスの肥大心臓では、Hmgcs2の発現が変化する</p> <p>○権 哲源<sup>1)</sup>、中村 夏奈子<sup>2)</sup>、田原 早央莉<sup>1)</sup>、金 俊達<sup>3)</sup>、石田 純治<sup>3)</sup>、深水 昭吉<sup>1)3)</sup></p> <p><sup>1)</sup>筑波大学大学院 生命環境科学研究科、<sup>2)</sup>筑波大学 生命環境学群、<sup>3)</sup>筑波大学 生存ダイナミクス研究センター</p>
11:36~11:48 OL-10	<p>【ポスター発表演題番号：P-82】</p> <p>食品由来ファイトケミカルのゼブラフィッシュを用いた機能解析</p> <p>○村木 恭二<sup>1)</sup>、遠藤 優佳<sup>1)</sup>、渡邊 朝美<sup>2)</sup>、小林 麻己人<sup>3)</sup></p> <p><sup>1)</sup>筑波大学大学院 人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻、<sup>2)</sup>筑波大学 生命環境学群生物学類、<sup>3)</sup>筑波大学 医学医療系</p>

11:48~12:00 OL-11	<p>【ポスター発表演題番号：P-88】</p> <p>ヒト血清アルブミン融合による抗腫瘍活性を増強するヒトラクトフェリンの細胞内取り込み促進:カベオラ介在性エンドサイトーシスによる制御</p> <p>○栗本 大輔<sup>1)</sup>、笠間 諒也<sup>1)</sup>、中村 真男<sup>1)</sup>、佐藤 淳<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科</p>
12:00~12:12 OL-12	<p>【ポスター発表演題番号：P-89】</p> <p>脱ユビキチン化酵素USP8の自己活性抑制機構</p> <p>○柿原 慧遵<sup>1)</sup>、浅水 謙吾<sup>1)</sup>、遠藤 彬則<sup>2)</sup>、駒田 雅之<sup>1)2)</sup>、福嶋 俊明<sup>1)2)</sup></p> <p><sup>1)</sup>東京工業大学 生命理工学院、<sup>2)</sup>東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター</p>
12:12~12:17	<p><b>次年度支部例会代表世話人挨拶</b></p> <p>常岡 誠 (高崎健康福祉大学薬学部)</p>
12:17~13:20	<p><b>昼食</b></p>
12:20~13:20	<p><b>支部評議員会</b></p> <p>R1棟 2階 第一会議室</p>
<p><b>Session 3 ポスタービューイング (13:20~14:40)</b></p> <p>ポスター会場： 2階 集会室1、3階 ラウンジ</p>	
12:20~13:20	<p><b>自由討論</b></p>
13:20~14:00	<p><b>奇数番号 ポスター発表・討論</b></p>
14:00~14:40	<p><b>偶数番号 ポスター発表・討論</b></p>
<p><b>Session 4 特別講演 (14:40~16:10)</b></p> <p>「ノーベル賞と生化学」</p> <p>座長：久堀 徹 (東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所)</p>	
14:40~15:10	<p>水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科教授)</p> <p>オートファジー研究：酵母からの展開</p>
15:10~15:40	<p>武田 俊一 (京都大学大学院医学研究科教授)</p> <p>本庶佑先生のノーベル生理学医学賞受賞の研究が、がん治療をいかに変えたか</p>
15:40~16:10	<p>上田 宏 (東京工業大学 化学生命科学研究所教授)</p> <p>ノーベル化学賞を受賞したイノベーター：Gregory Winter 博士</p>
16:10~16:30	<p><b>休憩</b></p>



**Session 5 シンポジウム (16:30~17:45)**

「生化学と先端技術」

座長：一瀬 宏 (東京工業大学生命理工学院)

<b>16:30~16:55</b>	夏目 徹 (産総研創薬分子プロファイリング研究センター長) LabDroidまほろが拓く生化学・ライフサイエンスの未来
<b>16:55~17:20</b>	杉浦 悠毅 (慶應義塾大学医学部医化学教室講師) 生化学と分析化学の融合
<b>17:20~17:45</b>	北尾 彰朗 (東京工業大学生命理工学院教授) 計算から予測するタンパク質複合体
<b>17:45~17:55</b>	優秀発表表彰
<b>17:55~18:00</b>	<b>閉会の言葉</b> 仁科 博史 (関東支部長、東京医科歯科大学 難治疾患研究所)
<b>18:10~20:00</b>	懇親会 (大学会館2階 カフェレストラン・モトテカ)

## ポスター発表

9:00～	貼付
12:20～13:20	自由討論
13:20～14:00	奇数番号 ポスター発表・討論
14:00～14:40	偶数番号 ポスター発表・討論
14:40～16:30	撤去

ポスター発表会場：大学会館3階ラウンジ P-01～P-60  
 大学会館2階集会室 1 P-61～P-93

\*印：優秀ポスター発表賞の選考対象

優秀ポスター発表賞の選考対象は、学生に限ります。学生以外に方の発表に\*がついている場合、あるいは、学生の発表であるのに\*がついていない場合には、事務局までお知らせ下さい。ポスター番号(P)の下にOLがついている方は、口頭発表をお願いいたします。口頭発表につきましては、申込数が演題予定数を超えていたため、準備委員会で選考させていただきました。何とぞ、ご了承下さい。

P-01	*	光合成の不活性化を担うチオレドキシソキシン様タンパク質の標的選択性 ○横地 佑一 <sup>1)2)</sup> 、杉浦 一徳 <sup>2)</sup> 、吉田 啓亮 <sup>1)2)</sup> 、若林 憲一 <sup>1)2)</sup> 、久堀 徹 <sup>1)2)</sup> <sup>1)東京工業大学 生命理工学院、<sup>2)東京工業大学 化学生命科学研究所</sup></sup>
P-02	*	葉緑体 ATP 合成酵素の還元機構の解明 ○関口 敬俊 <sup>1)2)</sup> 、吉田 啓亮 <sup>1)2)</sup> 、若林 憲一 <sup>1)2)</sup> 、久堀 徹 <sup>1)2)</sup> <sup>1)東京工業大学 生命理工学院、<sup>2)東京工業大学 化学生命科学研究所</sup></sup>
P-03 OL-01		植物の活性酸素種(ROS)の積極的生成を担う NADPH オキシダーゼ/Rboh の Ca <sup>2+</sup> 結合とリン酸化を介した活性制御機構とその進化 ○橋本 貴史 <sup>1)</sup> 、橋本 研志 <sup>1)2)</sup> 、板橋 武 <sup>1)</sup> 、宮川 拓也 <sup>3)</sup> 、田之倉 優 <sup>3)</sup> 、朽津 和幸 <sup>1)2)</sup> <sup>1)東京理科大学理工学部応用生物科学科、<sup>2)東京理科大学イメージングフロンティアセンター、<sup>3)東京大学大学院農学生命科学研究科</sup></sup></sup>
P-04		ヘテロ変異導入による F <sub>0</sub> F <sub>1</sub> -ATP 合成酵素の回転機構の解析 ○三留 規誉 <sup>1)</sup> 、久保 進太郎 <sup>2)</sup> 、太田 澄恵 <sup>1)</sup> 、高嶋 ひかる <sup>3)</sup> 、重藤 優斗 <sup>3)</sup> 、新稲 亮 <sup>2)</sup> 、高田 彰二 <sup>2)</sup> <sup>1)沼津工業高等専門学校物質工学科、<sup>2)京都大学大学院理学研究科、<sup>3)宇部工業高等専門学校物質工学科</sup></sup></sup>
P-05	*	発光タンパク質を用いた酸化還元状態センサータンパク質の開発 ○傳 奈恵 <sup>1)2)</sup> 、杉浦 一徳 <sup>2)</sup> 、中村 俊吾 <sup>1)2)</sup> 、若林 憲一 <sup>1)2)</sup> 、久堀 徹 <sup>1)2)</sup> <sup>1)東京工業大学 生命理工学院、<sup>2)東京工業大学 化学生命科学研究所</sup></sup>
P-06	*	シアノバクテリア <i>Thermosynechococcus elongatus</i> BP-1 F <sub>1</sub> -ATPase $\gamma$ サブユニットの挿入配列の構造と活性制御 ○秋山 健太郎 <sup>1)2)</sup> 、若林 憲一 <sup>1)2)</sup> 、久堀 徹 <sup>1)2)</sup> <sup>1)東京工業大学 生命理工学院、<sup>2)東京工業大学 化学生命科学研究所</sup></sup>

P-07	*	分子シミュレーションによるキノノイドジヒドロプテリジン還元酵素の基質認識機構の解析 ○河野 はるか <sup>1)</sup> 、原 怜 <sup>1)</sup> 、古田 忠臣 <sup>1)</sup> 、一瀬 宏 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学生命理工学院
P-08	*	新規高効率細胞内 DDS 担体の創製 ○塩野 由佳 <sup>1)</sup> 、門井 千夏 <sup>1)</sup> 、野亦 裕太 <sup>2)</sup> 、佐野 健一 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 日本工業大学 創造システム、 <sup>2)</sup> 日本工業大学大学院 環境共生
P-09 OL- 02		肝臓の Gpnmh 発現誘導は 2 型糖尿病の進展を抑制する ○田中 大志 <sup>1)</sup> 、大串 悠斗 <sup>1)</sup> 、合田 亘人 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 早稲田大学
P-10	*	E3 ユビキチンリガーゼ HECTD3 による BMP シグナル抑制機構 ○山口 達也 <sup>1)</sup> 、右城 美里 <sup>1)</sup> 、小林 季逸 <sup>1)</sup> 、坂田 宜夫 <sup>1)</sup> 、中野 なおこ <sup>1)</sup> 、伊東 進 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学 生化学研究室
P-11	*	Hsp104 によるアミロイド線維の脱凝集反応の観察 ○柴田 京華 <sup>1)</sup> 、塚越 かおり <sup>1)</sup> 、池袋 一典 <sup>1)</sup> 、長谷川 成人 <sup>2)</sup> 、篠原 恭介 <sup>1)</sup> 、養王田 正文 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学工学府生命工学専攻、 <sup>2)</sup> 東京都医学総合研究所
P-12	*	原発性繊毛運動不全症の原因遺伝子 Dpcd の機能解析 ○澤田 麻里 <sup>1)</sup> 、菊本 真人 <sup>2)</sup> 、木下 実紀 <sup>3)</sup> 、松井 優花 <sup>1)</sup> 、松本 友治 <sup>2)</sup> 、大澤 郁朗 <sup>4)</sup> 、高橋 佳子 <sup>5)</sup> 、米村 重信 <sup>5)</sup> 、川本 晃大 <sup>3)</sup> 、難波 啓一 <sup>2)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学 大学院 生命工学専攻、 <sup>2)</sup> 名古屋大学 構造生物学研究センター、 <sup>3)</sup> 大阪大学 大学院 生命機能研究科、 <sup>4)</sup> 東京都健康長寿医療センター、 <sup>5)</sup> 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター、 <sup>6)</sup> 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター、 <sup>7)</sup> 筑波大学 下田臨海実験センター、 <sup>8)</sup> 相山女学園大学、 <sup>9)</sup> 大阪大学 大学院 理学研究科
P-13	*	DnaJB6 の発現・精製と PolyQ-Htt 凝集抑制機能に関する研究 ○中村 祐子 <sup>1)</sup> 、養王田 正文 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
P-14	*	熱帯熱マラリア原虫由来 PTEX 構成因子と PV1 の機能及び相互作用解析 ○緑川 莉緒 <sup>1)</sup> 、中村 真奈美 <sup>1)</sup> 、袴田 一晃 <sup>1)</sup> 、長岡 ひかる <sup>2)</sup> 、高島 英造 <sup>2)</sup> 、養王田 正文 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学工学府生命工学専攻、 <sup>2)</sup> 愛媛大学プロテオサイエンスセンター
P-15	*	微小管結合蛋白質 Tppp3 の機能構造解析 ○矢幡 堪二 <sup>1)</sup> 、関 嵐 <sup>1)</sup> 、餘家 博 <sup>2)</sup> 、真行寺 千佳子 <sup>1)</sup> 、小林 直宏 <sup>3)</sup> 、篠原 恭介 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学大学院、 <sup>2)</sup> 基礎生物学研究所、 <sup>3)</sup> 大阪大学蛋白質研究所
P-16	*	コムギ胚芽無細胞系を用いた高発現嗅覚受容体の生産 ○阿部 雅司 <sup>1)</sup> 、福谷 洋介 <sup>1)</sup> 、浅川 賢史 <sup>1)</sup> 、竹田 浩之 <sup>2)</sup> 、松波 宏明 <sup>3)</sup> 、養王田 正文 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京農工大学 院工 生命工、 <sup>2)</sup> 愛媛大学 PROS、 <sup>3)</sup> デューク大学 メディカルセンター
P-17		PRMT 8 が有するアルギニンメチル化活性の生物学的意義に関する研究 ○田原 早央莉 <sup>1)</sup> 、金 俊達 <sup>2)</sup> 、森 遥佳 <sup>3)</sup> 、陸 偉哲 <sup>4)</sup> 、深水 昭吉 <sup>2)</sup> <sup>1)</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科、 <sup>2)</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター、 <sup>3)</sup> 筑波大学 生物資源学類、 <sup>4)</sup> 筑波大学 ヒューマンバイオロジー学位プログラム

P-18	*	線虫ヒストンにおける新規ヒスチジンメチル基転移酵素の探索 ○林 岳宏 <sup>1)</sup> 、大徳 浩照 <sup>2)</sup> 、中島 実咲 <sup>1)</sup> 、加香 孝一郎 <sup>3)</sup> 、深水 昭吉 <sup>2)</sup> 1)筑波大学大学院生命環境科学研究科、2)筑波大学生存ダイナミクス研究センター、3)筑波大学大学院生命環境系
P-19	*	スギヒラタケ由来レクチン PPL2 と PPL3 は <i>C. elegans</i> に対し毒性である ○芹澤 里佳 <sup>2)</sup> 、大津 萌子 <sup>1)</sup> 、藤本 香奈 <sup>1)</sup> 、深沢 英乃 <sup>1)</sup> 、伊達 公恵 <sup>3)</sup> 、坂上 ひろみ <sup>1)2)</sup> 、小川 温子 <sup>3)4)</sup> 1)お茶の水女子大学理学部化学科、2)お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻、3)お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所、4)お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
P-20	*	ヒトラクトフェリンへのヒト血清アルブミン融合によるマクロピノサイトーシスが関与する細胞毒性増強メカニズム ○笠間 諒也 <sup>1)</sup> 、栗本 大輔 <sup>1)</sup> 、中村 真男 <sup>1)</sup> 、佐藤 淳 <sup>1)</sup> 1)東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科
P-21	*	多価型ヒトラクトフェリン模倣ペプチドと硫酸化グリコサミノグリカンとの親和性解析 ○平井 祐汰 <sup>1)</sup> 、佐藤 淳 <sup>1)</sup> 、中村 真男 <sup>1)</sup> 1)東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科
P-22		組換えリアノジン受容体のクライオ電子顕微鏡による解析 小林 琢也 <sup>1)</sup> 、包 明久 <sup>2)</sup> 、呉林 なごみ <sup>1)</sup> 、斎藤 慧 <sup>3)</sup> 、櫻井 隆 <sup>1)</sup> 、吉川 雅英 <sup>2)</sup> 、村山 尚 <sup>1)</sup> 、○小川 治夫 <sup>4)</sup> 1)順天堂大学・院・医学研究科、2)東京大学・院・医学系研究科、3)東京大学・院・総合文化研究科、4)東京大学・定量生命科学研究所
P-23	*	Wnt 誘導性発現因子 Axin2 のホモオリゴマー形成機構の生化学的解析 ○加藤 安梨沙 <sup>1)</sup> 、寺脇 慎一 <sup>2)</sup> 、若松 馨 <sup>2)</sup> 1)群馬大学 理工学部 化学・生物化学科、2)群馬大学 大学院理工学府 分子科学部門
P-24	*	Wnt シグナル制御因子のオリゴマー形成における分子間相互作用を特徴付けるアミノ酸残基の同定 ○金子 尚樹 <sup>1)</sup> 、石渡 拓也 <sup>1)</sup> 、清水 結加 <sup>1)</sup> 、寺脇 慎一 <sup>1)</sup> 、若松 馨 <sup>1)</sup> 1)群馬大学院 理工学府
P-25		酸素センサータンパク質プローブを利用した細胞内酸素のモニタリング ○野亦 次郎 <sup>1)</sup> 、久堀 徹 <sup>1)</sup> 1)東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所
P-26	*	感染応答解明のための <i>in vitro</i> ヒト腸管モデル構築 ○松浦 涼平 <sup>1)</sup> 、岩谷 駿 <sup>1)</sup> 、梶原 将 <sup>1)</sup> 1)東京工業大学生命理工学院生命理工学系
P-27	*	ペプチドの強固な 2 量体形成能を利用した蛍光抗体センサーの開発と評価 ○安田 貴信 <sup>1)</sup> 、井上 暁人 <sup>1)</sup> 、大室 有紀 <sup>2)</sup> 、北口 哲也 <sup>2)</sup> 、上田 宏 <sup>2)</sup> 1)東京工業大学 生命理工学院、2)東京工業大学 化学生命科学研究所
P-28	*	FDLA 誘導体化 LC/MS/MS 法を用いた味噌中の D, L-アミノ酸分析 ○原之園 彩華 <sup>1)</sup> 、高野 友輔 <sup>1)</sup> 、滝島 裕貴 <sup>1)</sup> 、小林 正樹 <sup>1)</sup> 、新津 勝 <sup>1)</sup> 、古地 壯光 <sup>1)</sup> 1)城西大学 薬学部 生体分析化学研究室
P-29	*	LC/MS/MS を用いての Leydig 細胞腫由来細胞株 I-10 細胞より産生されるテストステロン分析法の検討 ○八手幡 未来 <sup>1)</sup> 、小林 正樹 <sup>1)</sup> 、新津 勝 <sup>1)</sup> 、古地 壯光 <sup>1)</sup> 1)城西大学 薬学部 生体分析化学研究室

P-30		<p>エクソソーム研究における電子顕微鏡直接観察による評価の重要性</p> <p>○石井 則行<sup>1)2)</sup>、池本 光志<sup>1)3)</sup>、小田原 孝行<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門、<sup>2)</sup>岐阜大学大学院 連合農学研究科、<sup>3)</sup>東邦大学大学院 理学研究科</p>
P-31		<p>5 µg/mL より低濃度での組換えカイコ由来ウシ顆粒球マクロファージ増殖刺激因子の安定性</p> <p>○大田 方人<sup>1)</sup>、宮澤 光博<sup>2)</sup>、立松 謙一郎<sup>3)</sup>、犬丸 茂樹<sup>4)</sup></p> <p><sup>1)</sup>農研機構 動衛研 疾病防除基盤、<sup>2)</sup>農研機構 生物機能研 生体物質、<sup>3)</sup>農研機構 生物機能研 カイコ機能、<sup>4)</sup>農研機構 動衛研 企画管理</p>
P-32	*	<p>YAP を標的としたプロテインノックダウン法の確立</p> <p>○永野 和果<sup>1)</sup>、河本 理恵<sup>1)</sup>、福田 和男<sup>2)</sup>、正田 卓司<sup>3)</sup>、山崎 龍<sup>2)</sup>、中根 孝久<sup>4)</sup>、岡本 巖<sup>2)</sup>、内藤 幹彦<sup>5)</sup>、中野 なおこ<sup>1)</sup>、伊東 進<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>昭和薬科大学学生化学研究室、<sup>2)</sup>昭和薬科大学薬品化学研究室、<sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所有機化学部、<sup>4)</sup>昭和薬科大学天然物化学研究室、<sup>5)</sup>国立医薬品食品衛生研究所遺伝子医薬部</p>
P-33	*	<p>細胞間通信を介した細胞集団の遺伝子発現制御における計算機実験と培養実験でのフィードバック効果の一致</p> <p>○橋本 真奈<sup>1)</sup>、鮎川 翔太郎<sup>1)</sup>、木賀 大介<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>早稲田大学 理工学術院</p>
P-34 OL-03		<p>生細胞内のグルコース動態を検出する遺伝子コード型緑色蛍光センサーの創出</p> <p>○三田 真理恵<sup>1)</sup>、伊藤 幹<sup>2)</sup>、原田 一貴<sup>1)</sup>、菅原 和<sup>2)</sup>、上田 宏<sup>3)</sup>、坪井 貴司<sup>1)</sup></p> <p><sup>2)</sup>、北口 哲也<sup>3)</sup></p> <p><sup>1)</sup>東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系、<sup>2)</sup>東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻、<sup>3)</sup>東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所</p>
P-35 OL-04		<p>光依存的行動リズム及び行動量における時計遺伝子 zPer2、zCry1a と zCry2a の役割</p> <p>○Alifu Yikelamu<sup>1)</sup>、平山 順<sup>2)</sup>、仁科 博史<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>東京医科歯科大学難治疾患研究所、<sup>2)</sup>公立小松大学保健医療学部臨床工学科</p>
P-36	*	<p>Development of anti-CD22 antibody that inhibits ligand binding of CD22</p> <p>○Long Wang<sup>1)</sup>、Endo Ayaka<sup>1)</sup>、Takematsu Hiromu<sup>2)</sup>、Fedder Thomas<sup>3)</sup>、Tsubata Takeshi<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>東京医科歯科大学大学院免疫疾患分野、<sup>2)</sup>藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科、<sup>3)</sup>Duke 大学医学中心 免疫分野</p>
P-37	*	<p>TMEPAI ファミリーによる乳腺分化抑制メカニズム</p> <p>○井上 公美子<sup>1)</sup>、小林 万純<sup>1)</sup>、佐野 圭吾<sup>1)</sup>、伊東 進<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>昭和薬科大学薬学部生化学研究室</p>
P-38	*	<p>TMEPAI ファミリーによる中皮腫悪性化抑制</p> <p>○山浦 瑞貴<sup>1)</sup>、堤 優<sup>1)</sup>、中原 千絵<sup>1)</sup>、川島 理沙<sup>1)</sup>、中野 なおこ<sup>1)</sup>、伊東 進<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>昭和薬科大学・生化学</p>
P-39	*	<p>BMP を介した軟骨分化における MSK1 リン酸化部位の解析</p> <p>○綾部 佳穂<sup>1)</sup>、須田 遼太<sup>1)</sup>、小嶋 彩夏<sup>1)</sup>、山本 陽平<sup>1)</sup>、鳥越 千尋<sup>1)</sup>、嶋田 貴之<sup>1)</sup>、中野 なおこ<sup>1)</sup>、伊東 進<sup>1)</sup></p> <p><sup>1)</sup>昭和薬科大学・生化学</p>

P-40	*	大腸慢性炎症誘発腫瘍モデルにおける TGF- $\beta$ シグナル抑制因子 TMEPAI ファミリー遺伝子欠損マウスの解析 ○伊東 真菜 <sup>1)</sup> 、石川 諒 <sup>1)</sup> 、芝崎 哲平 <sup>1)</sup> 、佐野 圭吾 <sup>1)</sup> 、伊東 進 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学薬学部生化学研究室
P-41	*	BMP 刺激による MSK1 を介した軟骨分化における Smad4 の役割 ○須田 遼太 <sup>1)</sup> 、綾部 佳穂 <sup>1)</sup> 、小嶋 彩夏 <sup>1)</sup> 、山本 陽平 <sup>1)</sup> 、鳥越 千尋 <sup>1)</sup> 、嶋田 貴之 <sup>1)</sup> 、中野 なおこ <sup>1)</sup> 、伊東 進 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学生化学研究室
P-42	*	BMP 刺激による MSK1 を介した軟骨分化における Smad4 の役割 ○須田 遼太 <sup>1)</sup> 、綾部 佳穂 <sup>1)</sup> 、小嶋 彩夏 <sup>1)</sup> 、山本 陽平 <sup>1)</sup> 、鳥越 千尋 <sup>1)</sup> 、嶋田 貴之 <sup>1)</sup> 、中野 なおこ <sup>1)</sup> 、伊東 進 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学生化学研究室
P-43	*	抗コリン薬として働くノビレチン ○岩田 千宏 <sup>1)</sup> 、土屋 幸弘 <sup>1)</sup> 、松下 莉子 <sup>1)</sup> 、高田 剛 <sup>2)</sup> 、居原 秀 <sup>3)</sup> 、渡邊 泰男 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学薬学部薬理学研究室、 <sup>2)</sup> 東北大学大学院医学系研究科環境医学分野、 <sup>3)</sup> 大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻分子生物学講座
P-44	*	活性イオウ分子によるマクロファージでのカルモデュリンキナーゼ II 活性制御 ○久保寺 傑 <sup>1)</sup> 、荒木 笙馬 <sup>1)</sup> 、高田 剛 <sup>2)</sup> 、土屋 幸弘 <sup>1)</sup> 、渡邊 泰男 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学 薬学部薬理学研究室、 <sup>2)</sup> 東北大学大学院 医学系研究科環境医学分野
P-45	*	上皮間葉転換誘導因子 VGLL3 によるオートファジーの機能解明 ○寺田 菜摘 <sup>1)</sup> 、高倉 勇気 <sup>1)</sup> 、平田 健介 <sup>1)</sup> 、町田 萌香 <sup>1)</sup> 、杉野 歩美 <sup>1)</sup> 、堀 直人 <sup>1)</sup> 、荒木 拓郎 <sup>1)</sup> 、川村 友博 <sup>1)</sup> 、高野 博之 <sup>2)</sup> 、山口 直人 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 千葉大・院薬・分子細胞生物学、 <sup>2)</sup> 千葉大・院薬・分子心血管薬理学
P-46	*	転写共役因子 VGLL3 の細胞内アミノ酸代謝における機能解析 ○川村 友博 <sup>1)</sup> 、竹洞 裕貴 <sup>1)</sup> 、平田 健介 <sup>1)</sup> 、町田 萌香 <sup>1)</sup> 、杉野 歩美 <sup>1)</sup> 、堀 直人 <sup>1)</sup> 、荒木 拓郎 <sup>1)</sup> 、寺田 菜摘 <sup>1)</sup> 、高野 博之 <sup>2)</sup> 、山口 直人 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 千葉大・院薬・分子細胞生物学、 <sup>2)</sup> 千葉大・院薬・分子心血管薬理学
P-47	*	転写共役因子 VGLL3 による Hippo pathway 活性化の意義 ○堀 直人 <sup>1)</sup> 、岡田 和之 <sup>1)</sup> 、高倉 勇気 <sup>1)</sup> 、平田 健介 <sup>1)</sup> 、町田 萌香 <sup>1)</sup> 、杉野 歩美 <sup>1)</sup> 、平井 直人 <sup>1)</sup> 、高野 博之 <sup>2)</sup> 、山口 直人 <sup>1)</sup> 、山口 憲孝 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 千葉大・院薬・分子細胞生物学、 <sup>2)</sup> 千葉大・院薬・分子心血管薬理学
P-48	*	ヒダントイン・インドール縮合化合物による抗炎症作用の分子機構の解析 ○林 昕 <sup>1)</sup> 、鷲見 和也 <sup>1)</sup> 、多胡 めぐみ <sup>1)</sup> 、高橋 恭子 <sup>1)</sup> 、増野 匡彦 <sup>1)</sup> 、多胡 憲治 <sup>2)</sup> 、田村 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 慶應義塾大学 薬学部、 <sup>2)</sup> 自治医科大学
P-49 OL- 05		核小体における EBP2 を介した NPM-ALK の新規形質転換メカニズムの解析 ○内原 脩貴 <sup>1)</sup> 、多胡 めぐみ <sup>1)</sup> 、多胡 憲治 <sup>2)</sup> 、田村 悦臣 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 慶應義塾大学薬学部、 <sup>2)</sup> 自治医科大学
P-50	*	STAT5 を介さないエリスロポエチンによる増殖シグナルの解析 武田 健吾 <sup>1)</sup> 、堀江 恵子 <sup>1)</sup> 、多胡 憲治 <sup>2)</sup> 、多胡 めぐみ <sup>1)</sup> 、田村 悦臣 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 慶應義塾大学、 <sup>2)</sup> 自治医科大学
P-51		ヒト iPS 細胞由来皮膚角質細胞における DNA 損傷応答機構の解析 ○島田 幹男 <sup>1)</sup> 、三宅 智子 <sup>2)</sup> 、松本 義久 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学科学技術創成研究院先導原子力研究所、 <sup>2)</sup> 東京工業大学科学技術創成研究院未来産業技術研究所

P-52	*	出芽酵母小胞体ストレス応答には Ptp2・Cmp2 プロテインホスファターゼの発現誘導が重要である ○中村 芽優 <sup>1)2)</sup> 、水野 智亮 <sup>1)</sup> 、入江 賢児 <sup>1)</sup> 1)筑波大学医学医療系分子細胞生物化学研究室、2)筑波大学医学群医学類
P-53		非環式レチノイドによる MYCN 陽性肝がん幹細胞の選択的排除機構 ○小嶋 聡一 <sup>1)</sup> 、秦 咸陽 <sup>1)</sup> 1)理化学研究所生命医科学研究センター肝がん予防研究ユニット
P-54	*	放線菌 <i>Streptomyces avermitilis</i> 由来 DyP 型ペルオキシダーゼの機能解析 ○鳥海 諒子 <sup>1)</sup> 、菅原 佳奈子 <sup>1)</sup> 、秋山 穂高 <sup>1)</sup> 、福士 結香 <sup>1)</sup> 、森田 美文 <sup>2)</sup> 、吉田 徹 <sup>3)</sup> 、菅野 靖史 <sup>1)</sup> 1)日本女子大学理学部物質生物科学科
P-55	*	<i>Bjerkandera adusta</i> Dec 1 株由来 DyP における電子伝達経路の展望 ○増川 日向子 <sup>1)</sup> 1)日本女子大学理学部物質生物科学科
P-56		メトホルミンによる細胞内コハク酸量減少と AMPK 活性化は KDM2A 依存的な rRNA 転写抑制に必要である。 ○田中 祐司 <sup>1)</sup> 、小西 昭充 <sup>2)</sup> 、大日方 英 <sup>2)</sup> 、南雲 美奈代 <sup>1)</sup> 、岡本 健吾 <sup>1)</sup> 、常岡 誠 <sup>1)</sup> 1)高崎健康福祉大学 薬学部、2)群馬大学 医学部
P-57	*	ウシ膵臓キモトリプシンとキモトリプシノーゲンに見出した糖結合性 ○石塚 陽奈子 <sup>1)</sup> 、伊奈 智恵子 <sup>1)</sup> 、竹川 寛子 <sup>1)</sup> 、伊達 公恵 <sup>2)</sup> 、小川 温子 <sup>3)</sup> 1)お茶の水女子大学 大学院 理学専攻、2)お茶の水女子大学 ヒューマンライフィノベーション研究所、3)お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系
P-58	?	CRISPR-Cas9 法による 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase 欠損マウスの新規作成 ○皆川 達郎 <sup>1)</sup> 、杉山 宇蘭 <sup>1)</sup> 、齊藤 千紘 <sup>1)</sup> 、宮下 雅嗣 <sup>1)</sup> 、梶原 若 <sup>1)</sup> 、阿南 弥寿美 <sup>1)</sup> 、赤星 軌征 <sup>1)</sup> 、石井 功 <sup>1)</sup> 1)昭和薬科大学
P-59		Cystathionine $\gamma$ -lyase 欠損母親マウスにおける射乳異常 ○赤星 軌征 <sup>1)</sup> 、半田 博紀 <sup>1)</sup> 、石井 功 <sup>1)</sup> 1)昭和薬科大学 衛生化学研究室
P-60		老化促進モデルマウス (SAM) P8 系と R1 系の糖質・脂質代謝の比較 ○高橋 良哉 <sup>1)</sup> 、大寺 恵子 <sup>1)</sup> 1)東邦大学薬学部生化学教室
P-61 OL-06		鉄硫黄クラスター生合成系における硫黄供給酵素のシステイン脱硫反応機構 ○中村 亮裕 <sup>1)</sup> 、藤城 貴史 <sup>1)</sup> 、高橋 康弘 <sup>1)</sup> 1)埼玉大学大学院 理工学研究科 生命科学系専攻
P-62	*	ジアシルグリセロールキナーゼ $\delta$ とスフィンゴミエリン合成酵素関連タンパク質の相互作用および機能関連 ○村上 千明 <sup>1)</sup> 、堺 弘道 <sup>2)</sup> 、林 康広 <sup>3)</sup> 、山下 純 <sup>3)</sup> 、坂根 郁夫 <sup>1)</sup> 1)千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 化学コース、2)島根大学 総合科学研究支援センター 生体情報・RI 実験部門、3)帝京大学 薬学部 生命薬学講座
P-63 OL-07		エネルギー代謝酵素 creatine kinase muscle type はホスファチジン酸に特異的に結合する ○星野 史規 <sup>1)</sup> 、坂根 郁夫 <sup>1)</sup> 1)千葉大・院・融合理工・化

P-64	*	O-GlcNAc 化修飾がヒトケラチノサイト細胞株 HaCaT 細胞の遊走に与える影響 ○小山 真司 <sup>1)</sup> 、武内 智春 <sup>1)</sup> 、大山 翠 <sup>1)</sup> 、畑中 朋美 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 城西大学 薬学部
P-65	*	胃粘液におけるガレクチン-2 の存在の確認 ○斉藤 麗 <sup>1)</sup> 、佐々木 啓晴 <sup>1)</sup> 、武内 智春 <sup>1)</sup> 、大山 翠 <sup>1)</sup> 、畑中 朋美 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 城西大学 薬学部
P-66 OL- 08		ムチン型糖鎖を全身性に欠損するマウスを用いた生理的機能の探索 ○鈴木 陸 <sup>1)2)</sup> 、中村 勇輝 <sup>1)</sup> 、布施谷 清香 <sup>1)3)</sup> 、坪内 鴻奈 <sup>1)</sup> 、新保 未来 <sup>1)</sup> 、高橋 智 <sup>1)</sup> 、工藤 崇 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 筑波大学 医学医療系 解剖学発生学研究室、 <sup>2)</sup> 筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム、 <sup>3)</sup> 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生命システム医学専攻
P-67		歯周炎抗体治療に向けた試験的取り組み ○山口 洋子 <sup>1)2)</sup> 、湯澤 和明 <sup>3)</sup> 、小原 実穂 <sup>3)</sup> 、山海 直 <sup>3)</sup> 、大島 光宏 <sup>4)</sup> <sup>1)</sup> 日本大学歯学部生化学講座、 <sup>2)</sup> 日本大学総合歯学研究所 機能形態部門、 <sup>3)</sup> 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター、 <sup>4)</sup> 奥羽大学薬学部生化学分野
P-68	*	マウス小腸上皮由来オルガノイド培養法の確立 ○浅利 心 <sup>1)</sup> 、山崎 航平 <sup>1)</sup> 、鈴木 香栄 <sup>1)</sup> 、佐野 圭吾 <sup>1)</sup> 、中野 なおこ <sup>1)</sup> 、伊東 進 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和薬科大学 生化学研究室
P-69 OL- 09		妊娠高血圧/ $\alpha$ 1A-AR-KO マウスの肥大心臓では、Hmgcs2 の発現が変化する ○権 哲源 <sup>1)</sup> 、中村 夏奈子 <sup>2)</sup> 、田原 早央莉 <sup>1)</sup> 、金 俊達 <sup>3)</sup> 、石田 純治 <sup>3)</sup> 、深水 昭吉 <sup>1)3)</sup> <sup>1)</sup> 筑波大学大学院 生命環境科学研究科、 <sup>2)</sup> 筑波大学 生命環境学群、 <sup>3)</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター
P-70		妊娠における胎仔サイズの解析 ○石田 純治 <sup>1)</sup> 、霍 思全 <sup>2)</sup> 、中島 実咲 <sup>2)</sup> 、金 俊達 <sup>1)</sup> 、深水 昭吉 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 筑波大学 生存ダイナミクス研究 (TARA) センター、 <sup>2)</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科 生物資源科学専攻
P-71	*	血管内皮カルパインが肥満誘発性耐糖能異常におよぼす影響 ○冨塚 祐希 <sup>1)</sup> 、宮崎 拓郎 <sup>1)</sup> 、赤須 里沙子 <sup>1)</sup> 、宮崎 章 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 昭和大学医学部生化学講座
P-72	*	上皮間葉転換における転写共役因子 VGLL3 の機能解析 杉野 歩美 <sup>1)</sup> 、○荒木 拓郎 <sup>1)</sup> 、平田 健介 <sup>1)</sup> 、高倉 勇気 <sup>1)</sup> 、堀 直人 <sup>1)</sup> 、町田 萌香 <sup>1)</sup> 、高野 博之 <sup>2)</sup> 、山口 直人 <sup>1)</sup> 、山口 憲孝 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 千葉大学 大学院薬学研究院 分子細胞生物学研究室、 <sup>2)</sup> 千葉大学 大学院薬学研究院 分子心血管薬理学研究室
P-73	*	Effect of Ruta angustifolia Extract on Planktonic Growth and Biofilm Formation o ○Mahfudhoh Eny <sup>1)</sup> 、Chen Xinyue <sup>1)</sup> 、Kajiwara Susumu <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> Tokyo Institute of Technology
P-74		PARG 機能阻害条件下における合成致死性遺伝子の同定と細胞死誘導機序の解析 ○佐々木 由香 <sup>1)2)</sup> 、小野寺 貴恵 <sup>1)2)</sup> 、安藤 博堯 <sup>1)</sup> 、小泉 史明 <sup>1)3)</sup> 、井上 謙吾 <sup>4)</sup> 、益谷 美都子 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 長崎大院・医歯薬・フロンティア生命科学、 <sup>2)</sup> 国がん研究セ・研・細胞情報学 連携研究室、 <sup>3)</sup> 都立駒込病院・臨床研究支援室、 <sup>4)</sup> ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター



P-75	*	多発性骨髄腫治療薬としてのダブルヘプタマー型 sgRNA の評価 ○石川 達矢 <sup>1)</sup> 、灰野 亜理紗 <sup>1)</sup> 、一柳 孝司 <sup>2)</sup> 、関 峰秋 <sup>1)</sup> 、梨本 正之 <sup>1)</sup> 1)健康自立総合研究機構、2)新潟医療技術専門学校
P-76		マウスマスト細胞における GATA2 と PU.1 の高親和性 IgE 受容体サブユニット FcεRIβ 遺伝子 (Ms4a2) 発現制御機構の解析 ○大森 慎也 <sup>1)</sup> 、石嶋 康史 <sup>1)</sup> 、沼田 涼香 <sup>1)</sup> 、高橋 舞 <sup>1)</sup> 、中郡 圭甫 <sup>1)</sup> 、大根田 絹子 <sup>1)</sup> 1)高崎健康福祉大学 薬学部
P-77		HP1γ は KDM2A 核小体局在およびその機能発揮に重要である ○岡本 健吾 <sup>1)</sup> 、田中 祐司 <sup>1)</sup> 、常岡 誠 <sup>1)</sup> 1)高崎健康福祉大学薬学部薬学科
P-78	*	TMEM117 と GFP の融合タンパク質を発現するガン細胞 HCT116 の細胞株の樹立 ○渡邊 英明 <sup>1)</sup> 、玉木 智也 <sup>1)</sup> 、丸山 竜人 <sup>1)</sup> 、杉山 友康 <sup>1)</sup> 1)東京工科大学応用生物学部
P-79		Piceatannol によるヒト TP53 遺伝子発現調節機構の解析 ○内海 文彰 <sup>1)</sup> 1)東京理科大学薬学部生命創薬科学科
P-80	*	消化器系臓器形成進行におけるヒストン脱メチル化酵素 LSD1 の作用点 ○西谷 彩奈 <sup>1)</sup> 、玉置 隼也 <sup>2)</sup> 、小林 麻己人 <sup>2)</sup> 1)東京理科大学基礎工学部生物工学科、2)筑波大学 医学医療系
P-81	*	LSD1 はゼブラフィッシュ 胚性造血において脱メチル化・スプライシング非依存的に機能する ○玉置 隼也 <sup>1)</sup> 、西谷 彩奈 <sup>1)</sup> 、竹内 未紀 <sup>1)</sup> 、安部 諒 <sup>1)</sup> 、日野 信次朗 <sup>2)</sup> 、和田 妙子 <sup>3)</sup> 、古川 雄祐 <sup>3)</sup> 、中尾 光善 <sup>2)</sup> 、小林 麻己人 <sup>1)</sup> 1)筑波大学、2)熊本大学、3)自治医科大学
P-82 OL-10		食品由来ファイトケミカルのゼブラフィッシュを用いた機能解析 ○村木 恭二 <sup>1)</sup> 、遠藤 優佳 <sup>1)</sup> 、渡邊 朝美 <sup>2)</sup> 、小林 麻己人 <sup>3)</sup> 1)筑波大学大学院 人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻、2)筑波大学 生命環境学群生物学類、3)筑波大学 医学医療系
P-83	*	RNA 結合タンパク質 Puf5 は CLB1 遺伝子の発現調節を介して酵母細胞の増殖に機能する ○佐藤 恵 <sup>1)2)</sup> 、入江 賢児 <sup>1)</sup> 1)筑波大学医学医療系分子細胞生物学研究室、2)筑波大学医学群医学類
P-84		がん創薬ターゲット RAD52 の DNA 修復活性の解析 ○五月女 美香 <sup>1)</sup> 、相澤 由有希 <sup>1)</sup> 、香川 亘 <sup>1)</sup> 1)明星大学大学院 理工学研究科
P-85	*	自閉症関連分子 SHANK3 アイソフォームの分子構造解析 ○横森 将輝 <sup>1)</sup> 、和賀 央子 <sup>1)</sup> 、堀江 直人 <sup>1)</sup> 、清水 仁美 <sup>1)</sup> 、内野 茂夫 <sup>1)</sup> 1)帝京大学大学院帝京大学大学院理工学研究科総合理工学専攻
P-86	*	ネオニコチノイド系薬剤がマウス大脳皮質のゲノム DNA のメチル化および遺伝子発現におよぼす影響 ○清水 仁美 <sup>1)</sup> 、和賀 央子 <sup>1)</sup> 、横森 将輝 <sup>1)</sup> 、宇和野 水優 <sup>1)</sup> 、内野 茂夫 <sup>1)</sup> 1)帝京大学大学院 理工学研究科
P-87		Inositol synthesis gene is required for circadian rhythm of Drosophila melanogas ○川崎 陽久 <sup>1)</sup> 、坂田 一樹 <sup>1)</sup> 、鈴木 孝洋 <sup>1)2)</sup> 、石田 直理雄 <sup>1)3)</sup> 1)国際科学振興財団 時間生物学研究所、2) (株) シグレイ、3)産業技術総合研究所

P-88 OL-11		ヒト血清アルブミン融合による抗腫瘍活性を増強するヒトラクトフェリンの細胞内取り込み促進:カベオラ介在性エンドサイトーシスによる制御 ○栗本 大輔 <sup>1)</sup> 、笠間 諒也 <sup>1)</sup> 、中村 真男 <sup>1)</sup> 、佐藤 淳 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科
P-89 OL-12		脱ユビキチン化酵素 USP8 の自己活性抑制機構 ○柿原 慧遵 <sup>1)</sup> 、浅水 謙吾 <sup>1)</sup> 、遠藤 彬則 <sup>2)</sup> 、駒田 雅之 <sup>1)2)</sup> 、福嶋 俊明 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学 生命理工学院、 <sup>2)</sup> 東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター
P-90	*	Functional analysis of Candida albicans ABC transporter Cdr1 ○ZHAO MENG CUN <sup>1)</sup> 、新見 京子 <sup>1)</sup> 、新見 昌一 <sup>1)</sup> 、梶原 将 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学生命理工学院
P-91	*	Elucidating the Signal for Intestinal Differentiation ○Leo Sylvia <sup>1)</sup> 、本荘 貴之 <sup>1)</sup> 、飯生 啓太 <sup>1)</sup> 、石部 隆之介 <sup>1)</sup> 、渡邊 輝彦 <sup>2)</sup> 、白木 伸明 <sup>1)</sup> 、桑 昭苑 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学 生命理工学院、 <sup>2)</sup> 関東化学
P-92	*	DNA 複製・損傷修復における PNKP の機能解析 ○今村 力也 <sup>1)</sup> 、塚田 海馬 <sup>1)</sup> 、齊川 昂太郎 <sup>1)</sup> 、島田 幹男 <sup>1)2)</sup> 、松本 義久 <sup>1)2)</sup> <sup>1)</sup> 東京工業大学 環境・社会理工学院 原子核工学コース、 <sup>2)</sup> 東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所
P-93		多繊毛細胞の分化における Deuterosome 形成機構の解明 ○山本 昌平 <sup>1)</sup> 、北川 大樹 <sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 東京大学大学院 薬学系研究科 生理化学教室